

2017年4月25日 全13頁

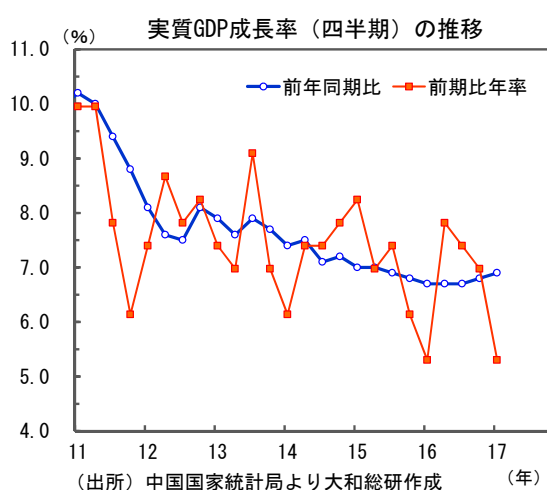
グラフで見る 2017年3月の中国経済動向

経済調査部 研究員 橋本 玲子
 主席研究員 齋藤 尚登

GDP

- ◆ 2017年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比6.9%と、16年7-9月期の同6.7%、10-12月期の同6.8%から加速した。前期比年率は5.3%と、16年4-6月期の同7.8%を直近のピークに減速。
- ◆ 1-3月期の需要項目別実質GDP成長率寄与度は、最終消費支出が5.3%pt、総資本形成が1.3%pt、純輸出が0.3%ptであった。純輸出については、15年1-9月期以降マイナスが続いていたが、プラスに転換した。
- ◆ 1-3月期の産業別成長率では、16年と比較して第二次産業が加速(6.1%→6.4%)した一方で、第一次産業(3.3%→3.0%)と第三次産業(7.8%→7.7%)はやや減速した。
- ◆ 各地方の成長率はまだ一部しか公表されていないが、西部が比較的高く、重慶市、貴州省は2桁成長が続いている。

実質GDP成長率、需要項目別寄与度



需要項目別実質GDP成長率寄与度（前年同期比）

	成長率(累計) %	最終消費支出 %pt	総資本形成 %pt	純輸出 %pt
2011年				
1-3月	10.2	6.1	3.8	-0.1
1-6	10.1	5.1	4.6	0.1
1-9	9.8	5.0	4.4	0.1
1-12	9.5	5.9	4.4	-0.8
2012年				
1-3月	8.1	6.4	2.4	-0.7
1-6	7.9	4.7	4.0	-0.9
1-9	7.8	4.2	3.9	-0.4
1-12	7.9	4.3	3.4	0.2
2013年				
1-3月	7.9	4.3	2.3	1.1
1-6	7.7	3.4	4.1	0.1
1-9	7.8	3.5	4.3	-0.1
1-12	7.8	3.6	4.3	-0.1
2014年				
1-3月	7.4	5.5	3.1	-1.2
1-6	7.4	4.0	3.6	-0.2
1-9	7.3	3.6	3.0	0.8
1-12	7.3	3.6	3.4	0.3
2015年				
1-3月	7.0	4.5	1.2	1.3
1-6	7.0	4.2	2.6	0.3
1-9	6.9	4.0	3.0	-0.1
1-12	6.9	4.1	2.9	-0.1
2016年				
1-3月	6.7	5.0	2.4	-0.8
1-6	6.7	4.9	2.5	-0.7
1-9	6.7	4.8	2.5	-0.5
1-12	6.7	4.3	2.8	-0.5
2017年				
1-3月	6.9	5.3	1.3	0.3

(出所) 中国国家统计局、CEICより大和総研作成

産業別成長率、各地方の成長率

産業別実質GDP成長率（1月から累計の前年同期比、単位：％）

		実質GDP 成長率	第一次 産業	第二次 産業	工業	建設業	第三次 産業	交通 運輸等	卸売・ 小売等	ホテル・ 飲食業	金融業	不動産業	その他 サービス業
2011年	1-3月	10.2	3.2	11.3	11.5	10.3	9.9	9.3	12.3	4.7	11.6	8.8	9.0
	1-6	10.1	2.9	11.1	11.4	10.0	10.1	9.3	12.3	4.8	11.0	8.7	9.7
	1-9	9.8	3.5	11.0	11.3	9.8	9.9	9.7	12.2	4.9	9.0	8.7	9.8
	1-12	9.5	4.2	10.7	10.9	9.7	9.5	9.7	12.5	5.1	7.7	7.4	9.6
2012年	1-3月	8.1	3.7	9.5	9.4	10.2	7.3	5.7	10.1	6.2	6.8	0.6	8.9
	1-6	7.9	4.3	8.7	8.5	9.8	7.6	5.9	10.0	6.1	8.0	1.2	8.9
	1-9	7.8	4.2	8.3	8.1	9.8	7.8	5.8	10.1	6.3	8.8	3.1	8.5
	1-12	7.9	4.5	8.4	8.1	9.8	8.0	6.1	10.3	6.5	9.4	4.7	8.1
2013年	1-3月	7.9	3.0	7.8	7.6	9.9	8.4	6.4	10.1	3.4	10.9	9.8	7.0
	1-6	7.7	2.8	7.7	7.4	9.8	8.3	6.3	10.3	3.5	10.3	8.6	7.4
	1-9	7.8	3.3	7.9	7.7	9.9	8.4	6.5	10.4	3.7	10.6	8.1	7.5
	1-12	7.8	3.8	8.0	7.7	9.7	8.3	6.6	10.5	3.9	10.6	7.2	7.5
2014年	1-3月	7.4	3.2	7.6	7.3	9.4	7.6	6.0	10.2	5.6	8.6	2.6	8.1
	1-6	7.4	3.7	7.7	7.4	9.5	7.6	6.4	10.1	5.8	8.2	2.5	8.3
	1-9	7.3	4.1	7.6	7.2	9.3	7.6	6.3	9.9	5.8	8.5	2.1	8.4
	1-12	7.3	4.1	7.4	7.0	9.1	7.8	6.5	9.7	5.8	9.9	2.0	8.5
2015年	1-3月	7.0	3.1	6.4	6.1	8.7	7.8	4.8	6.1	5.7	15.3	0.7	8.9
	1-6	7.0	3.5	6.3	6.1	7.0	8.1	4.1	6.0	5.7	17.0	2.5	8.8
	1-9	6.9	3.8	6.2	6.1	6.5	8.2	4.1	6.0	6.0	16.7	3.1	9.1
	1-12	6.9	3.9	6.2	6.0	6.8	8.2	4.1	6.1	6.2	16.0	3.2	9.3
2016年	1-3月	6.7	2.9	5.9	5.7	7.8	7.6	3.3	5.8	7.0	8.1	9.1	8.7
	1-6	6.7	3.1	6.1	5.9	7.5	7.5	4.6	6.2	6.9	6.7	8.9	8.9
	1-9	6.7	3.5	6.1	6.0	6.9	7.6	5.2	6.5	6.8	6.3	8.9	8.9
	1-12	6.7	3.3	6.1	6.0	6.6	7.8	6.5	6.7	6.9	5.7	8.6	9.3
2017年	1-3月	6.9	3.0	6.4	6.5	5.3	7.7	8.7	7.4	7.4	4.4	7.8	6.9

【参考】

2016年構成比	100.0	8.6	39.8	33.3	6.7	51.6	4.5	9.6	1.8	8.3	6.5	20.5
----------	-------	-----	------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

各地方の実質成長率の推移（前年比・前年同期比、単位：％）

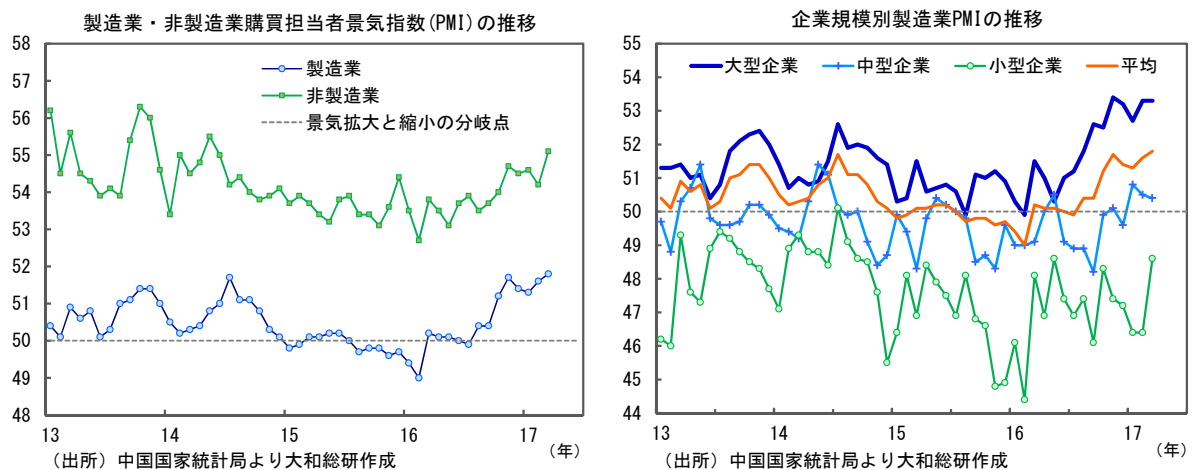
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年1-3月
東部	北京	8.1	7.7	7.7	7.3	6.9	6.7	6.9
	天津	16.4	13.8	12.5	10.0	9.3	9.0	8.0
	河北	11.3	9.6	8.2	6.5	6.8	6.8	
	遼寧	12.2	9.5	8.7	5.8	3.0	-2.5	
	上海	8.2	7.5	7.7	7.0	6.9	6.8	6.8
	江蘇	11.0	10.1	9.6	8.7	8.5	7.8	
	浙江	9.0	8.0	8.2	7.6	8.0	7.5	
	福建	12.3	11.4	11.0	9.9	9.0	8.4	
	山東	10.9	9.8	9.6	8.7	8.0	7.6	7.7
	広東	10.0	8.2	8.5	7.8	8.0	7.5	
	海南	12.0	9.1	9.9	8.5	7.8	7.5	8.9
	中部	山西	13.0	10.1	8.9	4.9	3.1	4.5
吉林		13.8	12.0	8.3	6.5	6.3	6.9	
黒竜江		12.3	10.0	8.0	5.6	5.7	6.1	
安徽		13.5	12.1	10.4	9.2	8.7	8.7	
江西		12.5	11.0	10.1	9.7	9.1	9.0	9.0
河南		11.9	10.1	9.0	8.9	8.3	8.1	8.0
湖北		13.8	11.3	10.1	9.7	8.9	8.1	7.6
湖南		12.8	11.3	10.1	9.5	8.5	7.9	7.4
西部	内モンゴル	14.3	11.5	9.0	7.8	7.7	7.2	
	広西	12.3	11.3	10.2	8.5	8.1	7.3	
	重慶	16.4	13.6	12.3	10.9	11.0	10.7	10.5
	四川	15.0	12.6	10.0	8.5	7.9	7.7	8.2
	貴州	15.0	13.6	12.5	10.8	10.7	10.5	10.2
	雲南	13.7	13.0	12.1	8.1	8.7	8.7	9.9
	チベット	12.7	11.8	12.1	10.8	11.0	10.0	
	陝西	13.9	12.9	11.0	9.7	7.9	7.6	8.1
	甘肅	12.5	12.6	10.8	8.9	8.1	7.6	
	青海	13.5	12.3	10.8	9.2	8.2	8.0	7.6
	寧夏	12.1	11.5	9.8	8.0	8.0	8.1	8.6
	新疆	12.0	12.0	11.0	10.0	8.8	7.6	
	全国平均	9.5	7.9	7.8	7.3	6.9	6.7	6.9

(出所) 中国国家统计局、中国統計年鑑、CEICなどより大和総研作成

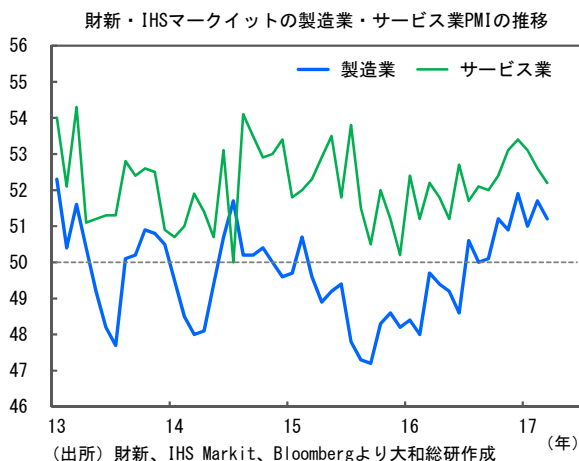
景況感

- ◆ 中国国家統計局と中国物流購入連合会が発表した 2017 年 3 月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は 51.8 と、2 月より 0.2pt 上昇し、景気拡大と縮小の節目である 50 を 8 ヶ月連続で上回った。非製造業 PMI は 55.1 (2 月より 0.9pt 上昇) と、14 年 5 月以来の高さとなった。
- ◆ 上記製造業 PMI を企業規模別に見ると、大型企業は 53.3 (2 月と同じ)、中型企業も 50.4 (2 月は 50.5) と、50 以上を維持した。小型企業は 50 を下回っているものの、48.6 と、2 月の 46.4 から大きく改善した。
- ◆ 中国メディアの財新と調査会社 IHS マークイットが発表した 3 月の製造業 PMI は 51.2 と、2 月 (51.7) より 0.5pt 下落したものの、9 ヶ月連続で 50 を上回った。サービス業 PMI は 52.2 (2 月は 52.6) と、16 年 12 月を直近のピークにやや低下も 50 を上回る水準で推移している。

国家統計局の製造業・非製造業 PMI、企業規模別製造業 PMI



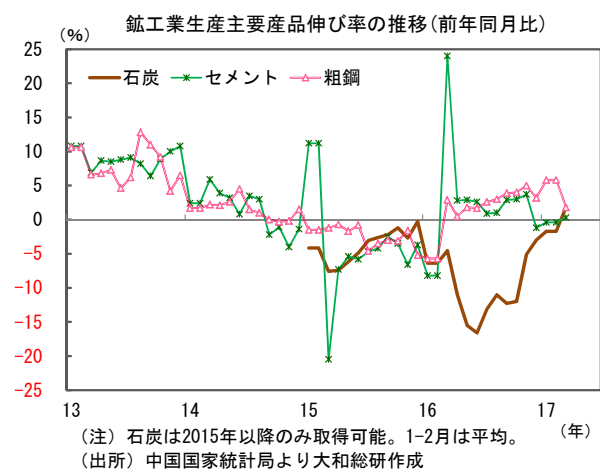
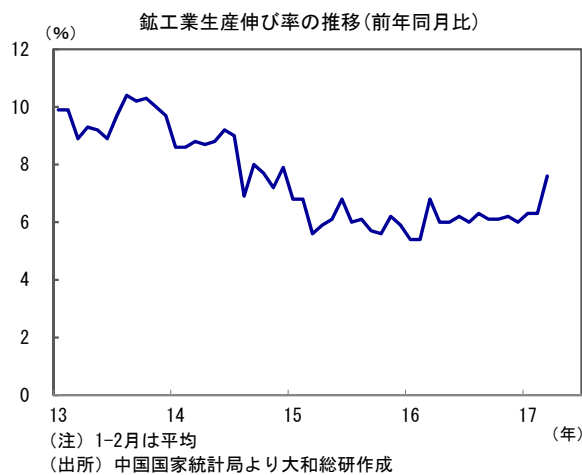
財新・IHS マークイットの製造業・サービス業 PMI



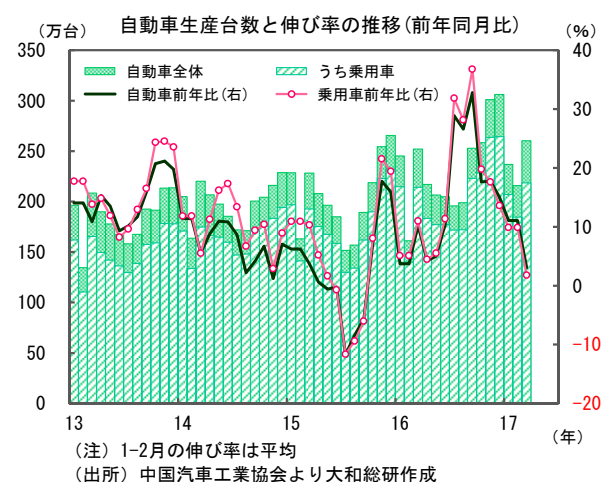
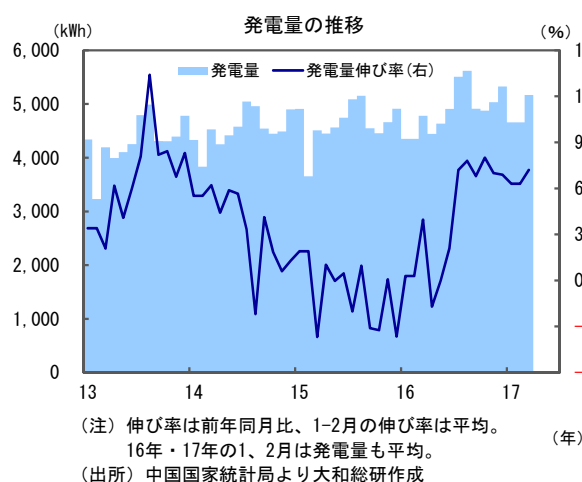
鋳工業生産

- ◆ 2017年3月の鋳工業生産は前年同月比7.6%増、1～3月の前年同期比は6.8%増となり、1～2月の同6.3%増から加速した。主要産品では、粗鋼が前年同月比1.8%増と伸び率は低下した。一方でセメントは同0.3%増と4ヵ月ぶりにプラスを回復、石炭も同1.9%増とデータが取得可能な15年以降初めてプラスとなった。
- ◆ 17年3月の発電量は前年同月比7.2%増、1～3月の前年同期比は6.7%増と、1～2月の同6.3%増から加速した。
- ◆ 17年3月の自動車生産台数は260万台、伸び率は前年同月比3.0%増と、マイナスだった15年9月以来の低い伸びとなった。うち乗用車生産台数も同1.8%増と低調。1～3月の累計では、自動車は前年同期比8.0%増、乗用車は同6.8%増であった。

鋳工業生産、主要産品



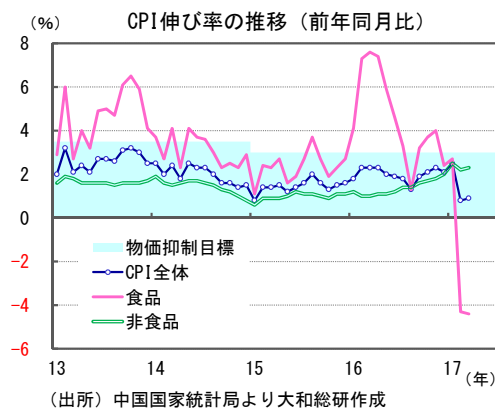
発電量、自動車生産台数



物価

- ◆ 2017年3月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比0.9%上昇した。食品は同4.4%下落、非食品は同2.3%上昇した。分類別に見ると、生鮮野菜（2月：同26.0%下落→3月：同27.9%下落）や肉類（2月：0.1%下落→3月：1.3%下落）、卵（2月：同14.9%下落→3月：同11.8%下落）などの下落が続いている。特に暖冬による豊作により、生鮮野菜の価格が急落しており、これだけでCPIを0.95%pt押し下げた。
- ◆ 3月の工業製品出荷価格指数（PPI）は前年同月比7.6%上昇と、2月の同7.8%上昇から上昇ペースは鈍化したものの、高水準で推移している。うち石炭・石油などの採掘工業品価格（2月：同36.1%上昇→3月：同33.7%上昇）、鉄鋼などの原材料工業品価格（2月：同15.5%上昇→3月：同14.9%上昇）の上昇率が大きく、生産財価格（2月：同10.4%上昇→3月：同10.1%上昇）は2桁の上昇が続いた。

消費者物価

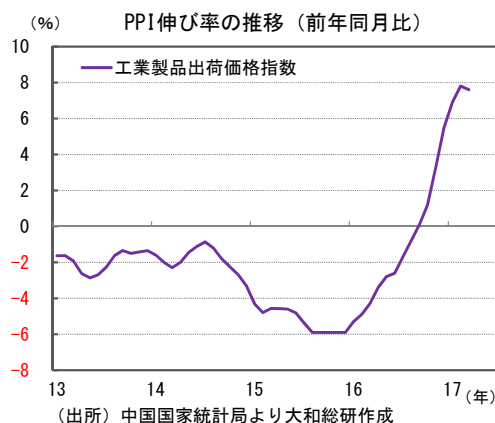


消費者物価指数 分類別伸び率（前年同月比、%）

	食品・ たばこ・ 酒	衣服	住居	生活用品 及び サービス	交通・ 通信	教育文化 ・ 娯楽	医療 保険	その他 用品・ サービス
2016/01	3.6	1.9	1.4	0.6	-1.6	1.7	2.9	-0.4
2016/02	5.8	1.6	1.3	0.3	-1.6	0.9	2.8	0.4
2016/03	6.0	1.5	1.3	0.4	-2.6	1.2	3.1	1.7
2016/04	5.9	1.5	1.4	0.5	-2.4	1.2	3.2	1.7
2016/05	4.7	1.5	1.6	0.6	-2.6	1.2	3.5	2.2
2016/06	3.7	1.4	1.6	0.6	-1.8	1.4	3.8	2.6
2016/07	2.8	1.4	1.6	0.6	-1.6	1.6	4.3	4.4
2016/08	1.5	1.3	1.5	0.4	-1.2	1.3	4.3	4.5
2016/09	2.7	1.2	1.5	0.3	-0.4	2.0	4.3	4.4
2016/10	3.0	1.3	1.8	0.4	-0.4	2.1	4.8	3.6
2016/11	3.2	1.4	2.0	0.3	0.0	2.2	4.4	4.2
2016/12	2.2	1.1	2.1	0.4	0.9	2.3	4.6	4.0
2017/01	2.5	1.1	2.3	0.6	2.3	3.3	5.0	4.8
2017/02	-2.4	1.2	2.5	0.5	1.7	1.8	5.1	3.1
2017/03	-2.4	1.3	2.4	0.7	2.0	2.3	5.3	2.9

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

生産者物価



工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、%）

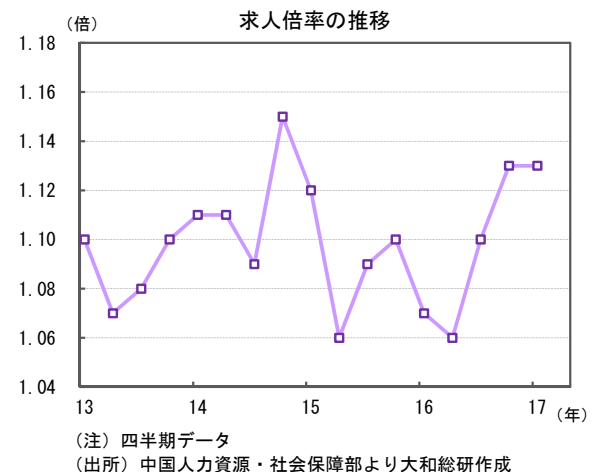
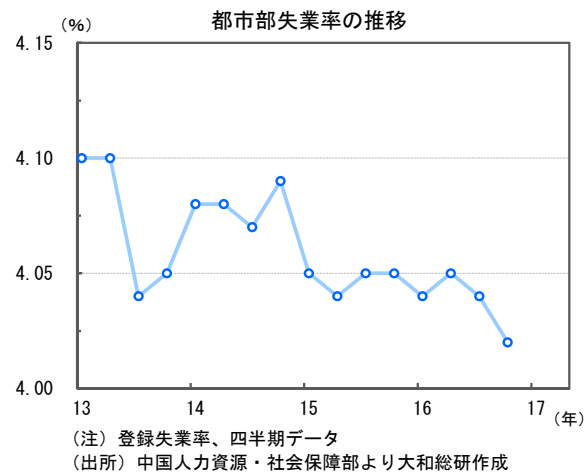
	生産財価格				生活財価格					
	採掘 工業品	原材料 工業品	加工 工業品		食品	衣類	日用品	耐久 消費財		
2016/01	-5.3	-6.9	-19.8	-9.1	-4.9	-0.5	0.2	0.7	-1.2	-1.6
2016/02	-4.9	-6.5	-18.2	-8.9	-4.5	-0.4	0.4	0.7	-1.0	-1.7
2016/03	-4.3	-5.7	-16.3	-8.8	-3.6	-0.2	0.7	0.8	-0.6	-1.7
2016/04	-3.4	-4.5	-13.0	-7.7	-2.5	-0.2	0.7	0.7	-0.5	-1.7
2016/05	-2.8	-3.7	-9.6	-7.2	-1.8	-0.2	0.6	0.7	-0.3	-1.7
2016/06	-2.6	-3.5	-8.2	-6.1	-2.0	-0.1	0.6	1.0	0.0	-1.7
2016/07	-1.7	-2.3	-5.6	-4.5	-1.2	0.0	0.2	1.1	0.6	-1.4
2016/08	-0.8	-1.0	-3.2	-2.3	-0.4	0.0	0.1	0.8	0.7	-1.3
2016/09	0.1	0.1	2.1	-0.2	0.1	0.0	0.3	0.7	0.5	-1.5
2016/10	1.2	1.6	7.9	1.9	0.9	0.1	0.6	0.9	0.2	-1.2
2016/11	3.3	4.3	14.8	5.8	2.9	0.4	0.9	1.1	0.7	-1.0
2016/12	5.5	7.2	21.1	9.8	5.1	0.8	1.3	1.3	1.3	-0.8
2017/01	6.9	9.1	31.0	12.9	5.9	0.8	1.3	1.1	1.5	-0.6
2017/02	7.8	10.4	36.1	15.5	6.6	0.8	1.1	1.3	1.5	-0.6
2017/03	7.6	10.1	33.7	14.9	6.5	0.7	0.7	1.3	1.4	-0.4

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

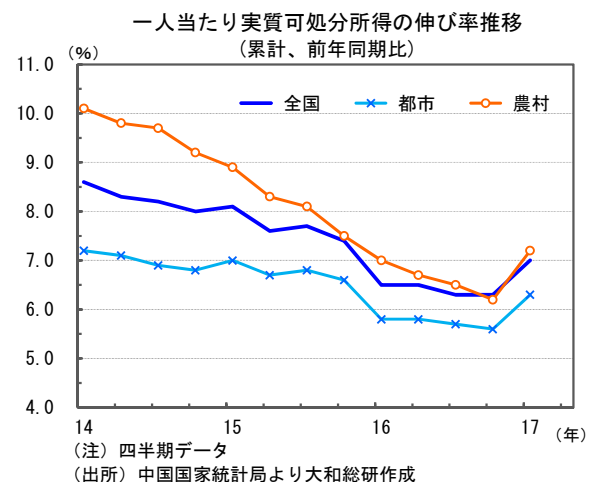
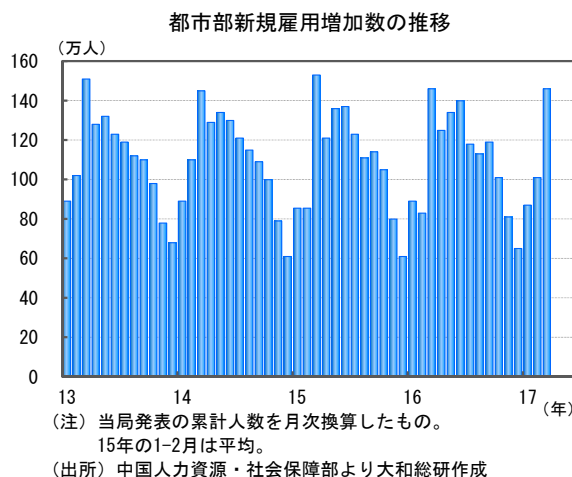
雇用と所得

- ◆ 2017年3月末の求人倍率は1.13倍と、16年末から横ばいであった。
- ◆ 17年1-3月期の一人当たり実質可処分所得（以下、前年同期比）は、全国7.0%増、都市部6.3%増、農村部7.2%増と16年10-12月期から上向いた。
- ◆ 17年1~3月の都市部新規雇用増加数は334万人だった（17年年間の政府目標は1,100万人以上）。

失業率と求人倍率



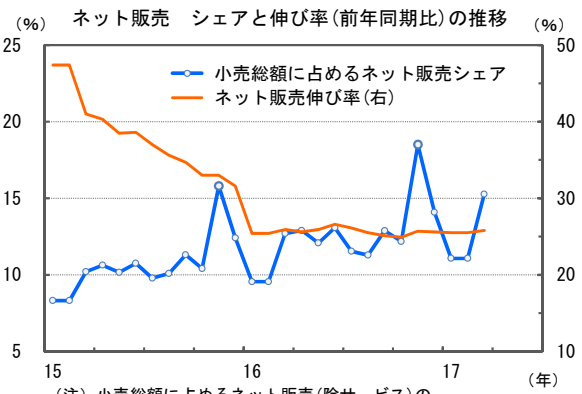
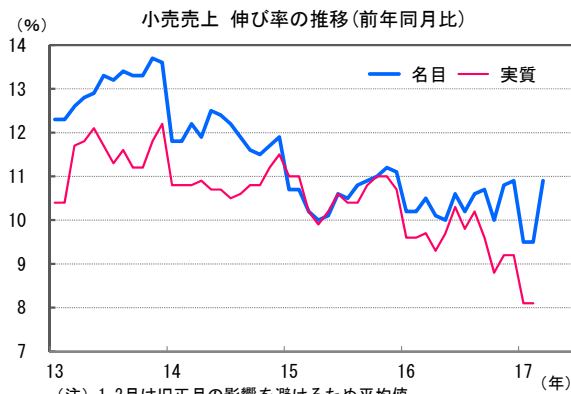
都市部新規雇用増加数の推移、一人当たり実質可処分所得



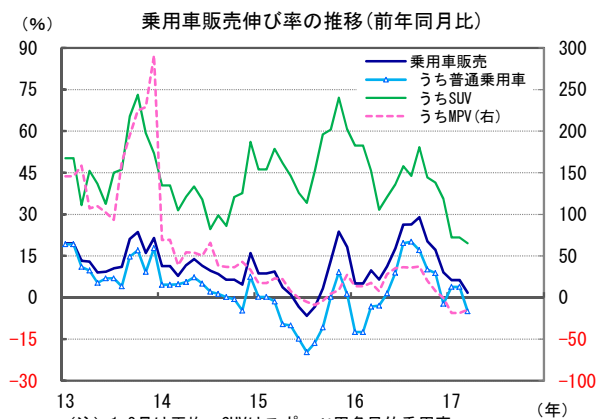
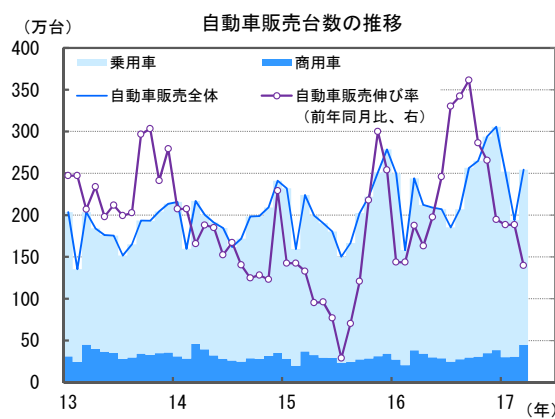
小売

- ◆ 2017年3月の小売売上（名目）は前年同月比10.9%増と、1～2月の前年同期比9.5%増から上向いた。3月は実質伸び率の公表がなかった。
- ◆ 1～3月のネット販売（除サービス）は前年同期比25.8%増と、1～2月の同25.5%から若干上昇した。3月の小売総額に占めるネット販売のシェアは15.3%と、1～2月平均の11.1%から拡大した。
- ◆ 中国汽車工業協会によると、17年3月の自動車販売台数は、前年同月比4.0%増の254.3万台であった。1～3月の累計自動車販売台数は、前年同期比7.0%増の700.2万台であった。3月の乗用車販売台数は前年同月比1.7%増の209.6万台、1～3月の累計では前年同期比4.6%増の594.8万台であった。車種別（以下、3月単月、前年同月比）では、普通乗用車が4.9%減、MPV（多機能乗用車）が14.9%減と減速する一方で、SUV（スポーツ用多目的車）が19.6%増だった。

小売売上の推移



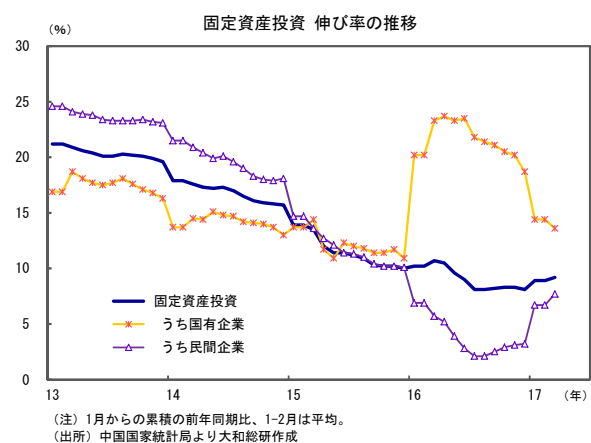
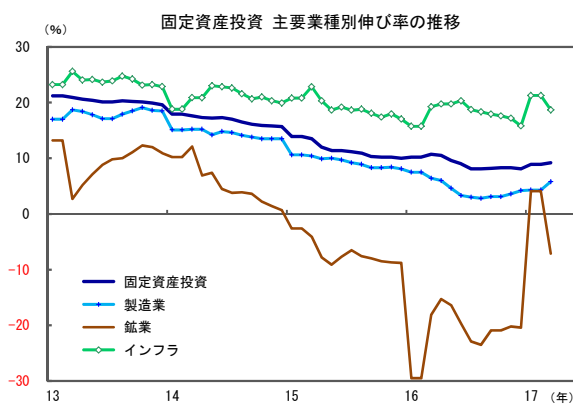
自動車販売



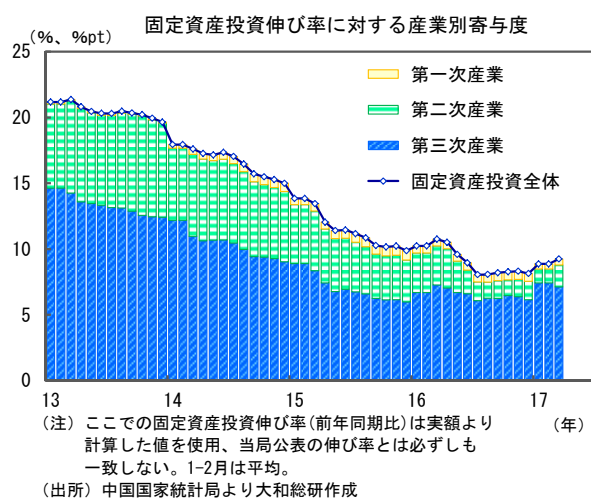
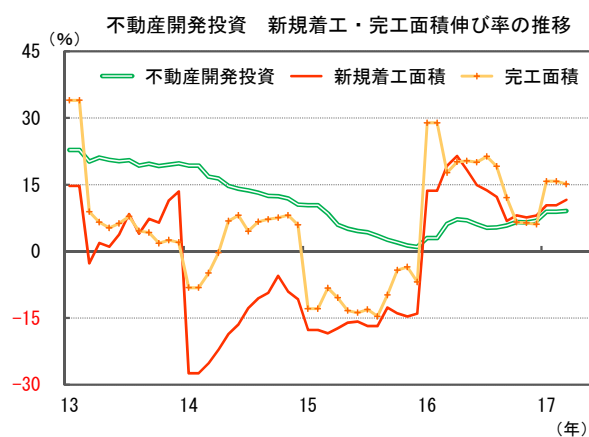
投資

- ◆ 2017年1～3月の固定資産投資は前年同期比9.2%増と、16年の前年比8.1%増から加速している。全体の3割強を占める国有部門は、前年同期比13.6%増となった。16年前半に伸び率が急上昇したが、その後、伸び率は鈍化傾向にある。一方、全体の6割強を占める民間部門は、前年同期比7.7%増と、16年の前年比3.2%増、17年1～2月の前年同期比6.7%増から加速が続いている。
- ◆ 1～3月の固定資産投資を主要業種別に見ると、鉱業が前年同期比7.1%減（1～2月は4.1%増）と再びマイナスに転じ、インフラも同18.7%増（1～2月は21.3%増）と伸び率は低下した。一方で、製造業は同5.8%増と、16年1～8月の同2.8%増を直近のボトムに上昇傾向を維持している。
- ◆ 1～3月の不動産開発投資は前年同期比9.1%増と、16年1～7月の同5.3%増を直近のボトムに、加速が続いている。不動産新規着工面積・完工面積は、それぞれ同11.6%増、同15.1%増だった。

固定資産投資



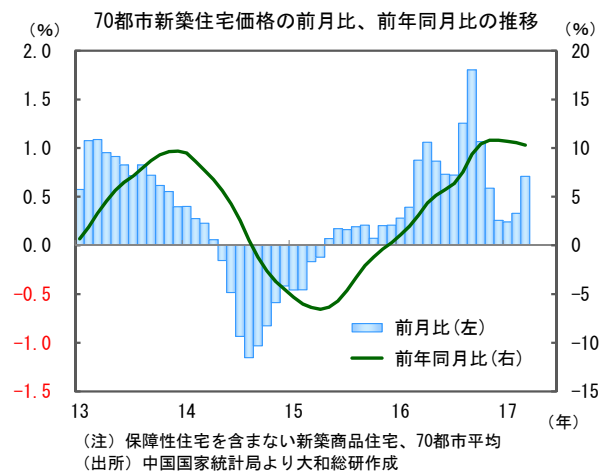
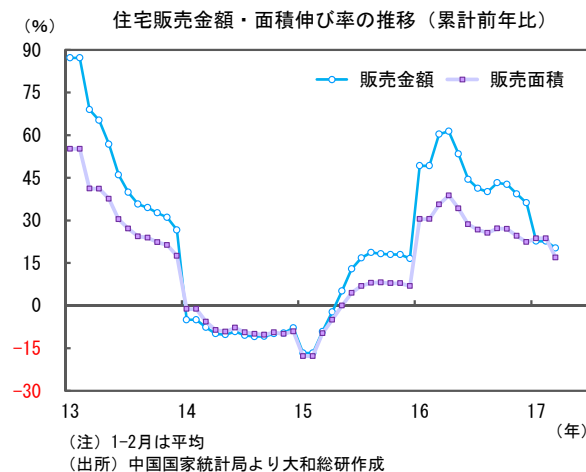
不動産開発投資、固定資産投資産業別寄与度



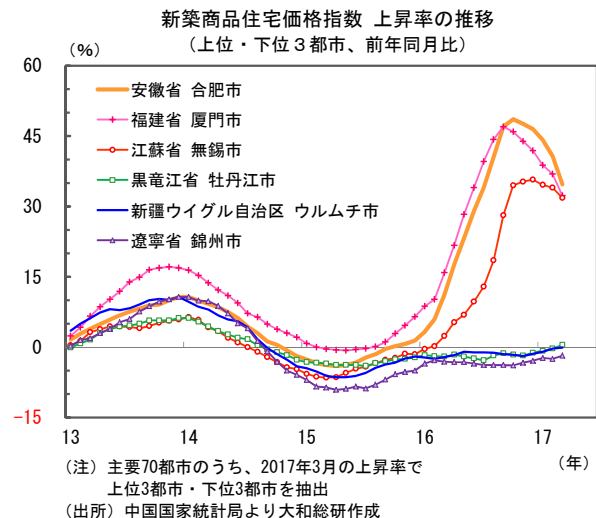
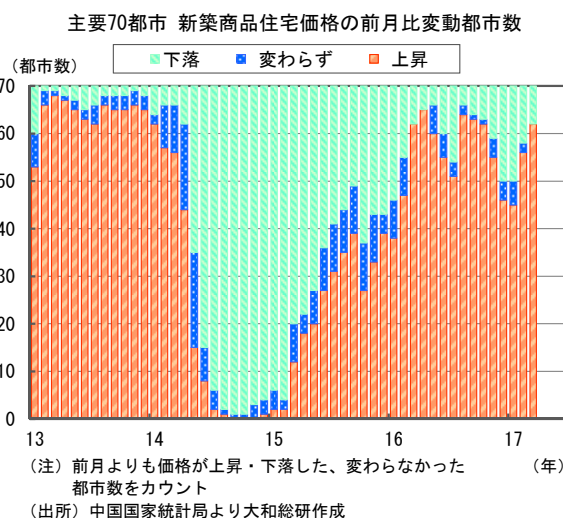
住宅

- ◆ 2017年1～3月の住宅販売金額は前年同期比20.2%増（1～2月は同22.7%増）と、16年の前年比36.2%増から減速した。住宅販売面積も前年同期比16.9%増（1～2月は同23.7%増）と、16年の前年比22.4%増から減速。
- ◆ 中国国家统计局による3月の主要70都市新築商品住宅価格（平均）は、前年同月比10.3%上昇、前月比0.7%上昇となった。前月比で上昇したのは62都市（2月は56都市）、下落したのは8都市（同12都市）となった。
- ◆ 主要70都市の新築商品住宅価格上昇率の上位3都市は、安徽省合肥市（前年同月比34.7%上昇）、福建省厦门市（同32.3%上昇）、江蘇省無錫市（同31.8%上昇）であった。一方、下位3都市は遼寧省錦州市（同1.8%下落）、新疆ウイグル自治区ウルムチ市（同0.1%下落）、黒竜江省牡丹江市（同0.5%上昇）となった。依然として住宅価格は二極化しているものの、その差は縮小傾向にある。

住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



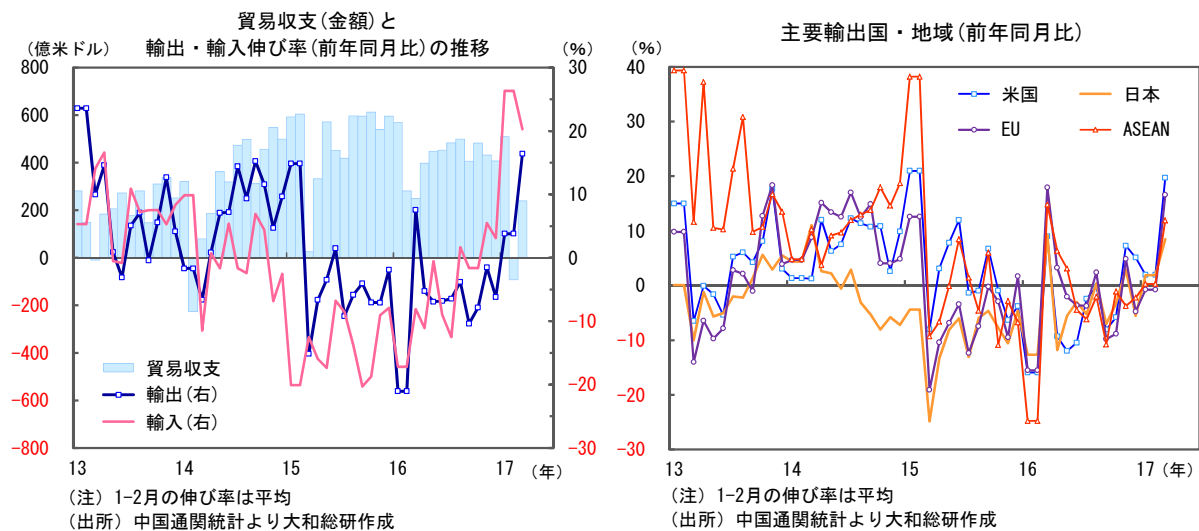
新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



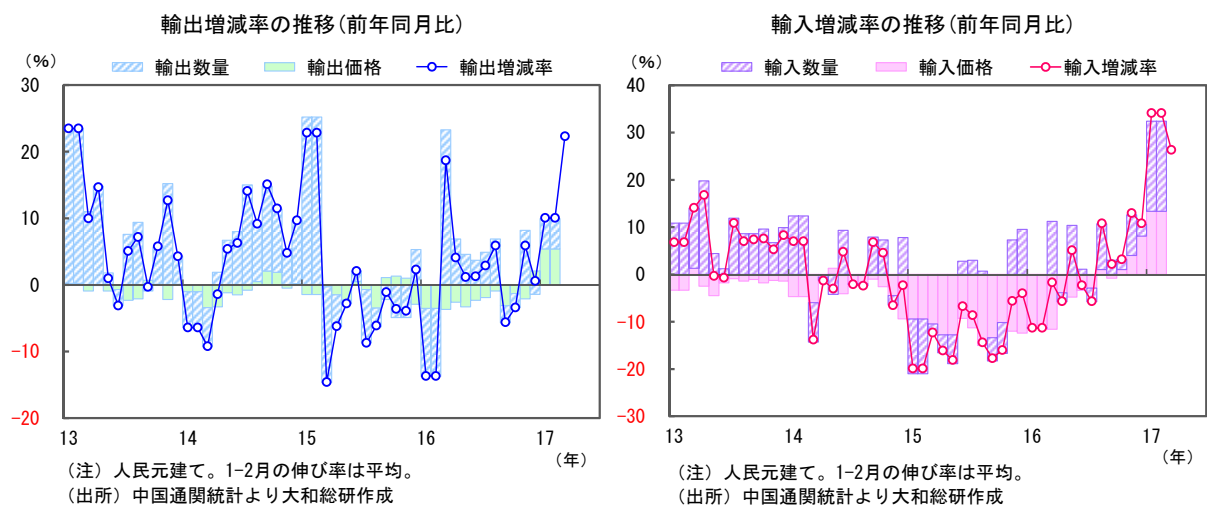
貿易

- ◆ 2017年3月のドル建て輸出は前年同月比16.4%増、輸入は同20.3%増。輸出を主要貿易相手国・地域別にみると、米国(2月:同4.2%減→3月:同19.7%増)、英国(同16.9%減→同19.2%増)、EU(同5.8%減→同16.6%増)などがプラス転換し、全体を押し上げた。貿易収支は239億米ドルの黒字と、2月の91.5億米ドル赤字から回復した。
- ◆ 17年1~3月のドル建て輸出は前年同期比8.2%増、輸入は同24.0%増となった。
- ◆ 17年3月の人民元建て輸出伸び率は前年同月比22.3%増、輸入は同26.3%増だった。
- ◆ 17年1~3月の人民元建て輸出は前年同期比14.8%増、輸入は同31.1%増となった。
- ◆ 17年1~2月(平均)の人民元建て輸出伸び率を数量と価格に分けると、それぞれ前年同月比+4.6%、同+5.4%、同様に輸入は、同+19.1%、同+13.4%と、いずれも数量、価格ともにプラスとなっている。

輸出入の推移(ドル建て)、主要輸出国・地域



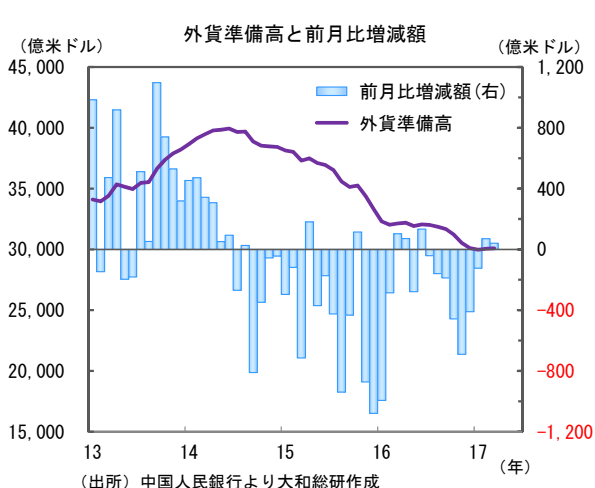
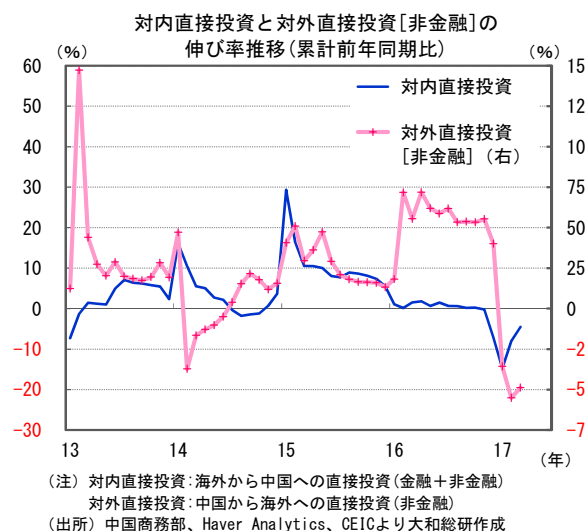
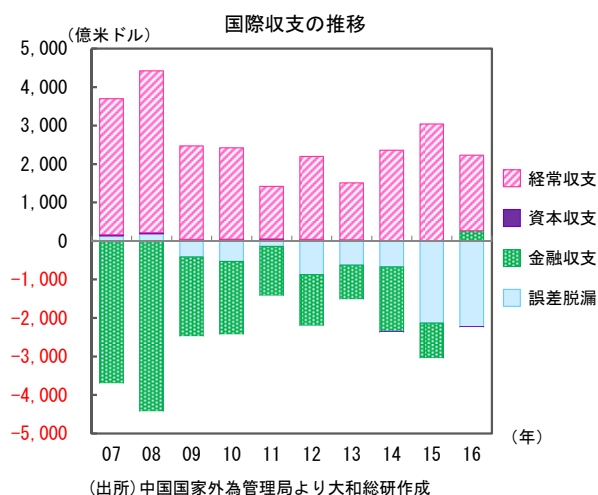
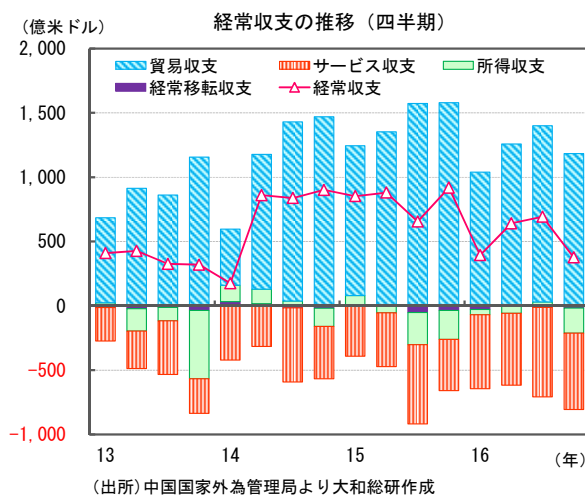
輸出入の推移(人民元建て)、価格・数量



国際収支

- ◆ 2016年の経常収支はリバイスされ1,964億米ドル（リバイス前は2,104億米ドル）の黒字となった。また、金融収支は通年では20年ぶりに黒字化した（海外純資産の増加）。
- ◆ 17年1～3月の海外から中国への直接投資（対内直接投資）は338億米ドル、前年同期比は4.5%減だった。
- ◆ 17年1～3月の中国から海外への対外直接投資（非金融）は205億米ドルだった。前年同期比は48.8%減と、17年に入り大幅なマイナスが続いている。
- ◆ 17年3月末の外貨準備高は3兆91億米ドルと、2ヵ月連続で前月比増加した。その背景の一つに上記対外直接投資の減少がある。

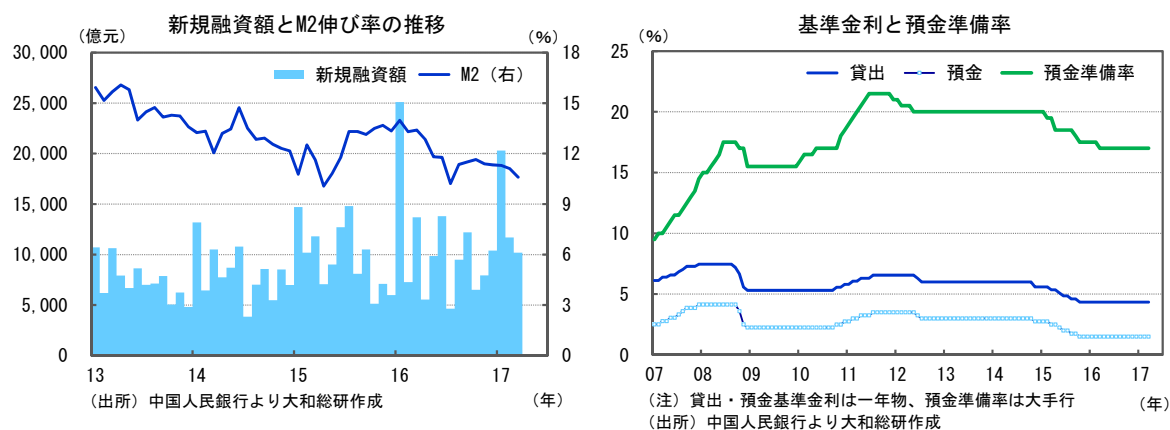
経常収支、対内・対外直接投資、外貨準備高



金融

- ◆ 2017年3月末のM2伸び率は前年同月比10.6%であった。
- ◆ 17年1～3月の社会資金調達金額（社会融資総量）は前年同期比4.3%増、3月末の社会資金調達金額残高は162兆8,200億円で、前年同月比12.5%増だった。

M2と金利



社会資金調達金額（社会融資総量）の増加額と残高

社会融資総量の増加額（億円）								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	59,664	36,324	3,864	3,371	1,703	6,702	2,285	4,333
2008年	69,804	49,042	1,947	4,261	3,145	1,065	5,523	3,325
2009年	139,105	95,943	9,265	6,780	4,364	4,607	12,369	3,352
2010年	140,191	79,450	4,853	8,749	3,864	23,347	11,060	5,786
2011年	128,286	74,715	5,712	12,964	2,032	10,272	13,659	4,377
2012年	157,631	82,038	9,163	12,838	12,846	10,498	22,551	2,508
2013年	173,168	88,917	5,849	25,466	18,403	7,756	18,112	2,219
2014年	164,134	97,815	3,554	25,069	5,175	-1,281	23,816	4,350
2015年	154,063	112,693	-6,427	15,911	434	-10,567	29,388	7,590
2016年	178,022	124,372	-5,640	21,854	8,593	-19,531	29,993	12,416
2017年1～3月	69,881	45,000	782	6,347	7,349	6,800	-1,472	2,948
前年同期比(%)	4.3	-3.5	純減⇒純増	15.7	361.4	純減⇒純増	純減	3.8

社会融資総量の残高（億円）								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	321,326	251,580	11,411	14,407	3,732	11,562	8,034	13,564
2008年	379,765	298,625	11,993	18,599	6,877	12,626	14,358	15,965
2009年	511,835	392,095	18,649	25,258	11,238	17,234	26,734	18,886
2010年	649,869	470,121	21,614	36,422	15,103	40,586	38,042	24,722
2011年	767,478	545,811	24,445	44,143	17,142	50,651	51,814	29,098
2012年	914,186	627,682	31,095	51,692	29,999	61,136	74,819	31,601
2013年	1,074,575	716,813	33,333	72,214	48,329	68,839	92,925	33,718
2014年	1,228,591	814,300	34,700	93,300	53,500	68,660	116,900	37,690
2015年	1,382,824	927,521	30,193	110,099	54,539	58,544	146,258	45,251
2016年	1,559,933	1,051,892	26,310	131,953	63,132	39,005	179,167	57,722
2017年3月末	1,628,200	1,096,900	26,900	138,300	70,100	45,800	178,600	60,700
前年同月比(%)	12.5	12.6	-2.9	19.6	25.0	-18.7	12.4	26.2

(注) 社会融資総量とは、金融システムから経済に供給された資金のネット増加額（または減少額）。

内訳と合計は一致しない。社会融資総量の増加額に関しては、月次金額の合計値を使用。

(出所) 中国人民銀行より大和総研作成

株価と為替

- ◆ 2017年3月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間0.6%下落、0.4%上昇だった。
- ◆ 3月末の人民元の対米ドルレートは6.8993元/ドルと月間0.4%の元安となった。2017年4月24日時点の対米ドルレートは6.8673元/ドルと3月末比で0.5%元高であった。
- ◆ 3月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比1.3%の元安、前年同月比6.4%の元安であった。

株価指数の推移



人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

